

桜樹地区タウンミーティング開催報告

日 時	令和3年12月12日（日）10：00～11：30	
場 所	桜樹公民館 2階 多目的ホール	
参加者	<p>【地域側：7人】桜樹地区自治会長、明河自治会長、千原自治会長、楠窪自治会長、鞍瀬地区自治会副会長兼中川消防分団7部長、公民館運営協力委員会委員長 民生委員桜樹支部長、</p> <p>【行政側：5人】市長、桜樹公民館長、建設部長、市民生活部長、丹原総合支所長</p>	
次 第	<ol style="list-style-type: none"> 1 開会 2 挨拶（桜樹地区自治会長） 3 市長挨拶・事業説明 4 意見交換：(1)簡易水道(※)の維持について ※地元が管理する水道施設 (2)道路環境整備について (3)公共交通について (現状と課題説明及び参加者全員による話し合い) 5 まとめ・閉会 	
概 要		
自治会長 挨拶	<p>今年、地域で課題となっている3点をテーマとし、意見交換を行う。以前から課題に挙がっている内容である。</p> <p>今日の会で、改めて地域の皆さんと市が課題を共有し、共に考え話し合うことで少しでも解決に向かいたいと思っている。前向きなご意見をいただくようお願いする。</p>	
市長 事業説明	<ul style="list-style-type: none"> ・コロナウイルス対策については、ワクチン接種の安全安心な環境整備と、市民生活を取り戻すため経済対策に重点を置く。 ・西条市の将来推計人口は30年間で約28%減少（2015年 108,174人 ⇒2045年 78,307人） ・人口減少対策として移住推進に力を入れており、みんなで「共創」して持続可能なまちを実現していきたい。 	
参加者の発言要旨		市の発言要旨（及び対応）
<p><簡易水道(※)の維持管理について></p> <p>簡易専用水道(※)の水源池の清掃について、高齢化が進み、地元住民だけでは負担が大きい。特に台風や豪雨の後、少人数での対応には大変苦慮している。</p> <p>各家庭にメーターを付けて水道料を払っても良いという意見もあり、行政が主導で対応できないか。水質検査も市で実施してほしい。</p> <p style="text-align: center;">※地元が管理する水道施設</p> <p>取水口の掃除についてだが、楠窪地区の設備には水を止めるバルブがある。大雨が降るのが分かれば、あらかじめ止めている。</p> <p>地区によって異なるのかもしれないが、そのような設備を考えてみてはどうか。</p>		<p>山村振興事業等で設置した飲料水の共同給水施設である（桜樹地区内14箇所）。</p> <p>維持管理の課題は以前からあったが、業者への委託を検討してはどうか。参考までに、丹原地区の平均水道料金は、一人あたり月1,200円であるので、この金額を目安に地元で集め、業者委託費に充ててはどうか。</p> <p>市では、各設置者の意向調査や料金の設定、集め方など委託するまでの仕組みづくりを積極的に関わっていきたい。</p> <p>水質調査について、採水は市でサポートできるが、費用は地元の維持管理費から負担していただく必要がある。</p>
<p><市による引き取り等について></p> <p>桜樹地区は住民の高齢化により、ごく少人数で行っている水源地清掃もいずれ続けられなくなるだろう。</p> <p>できれば簡易水道(※)も含め、市が水道施設を引き取って、管理していただきたい。</p> <p>人数が少なく、簡易水道(※)を設置できていない部落もある。そこでは、自分で水道設備を持っているが、そのような方に対して、市はどう考えているか。</p>		<p>水道料金の市内統一に向け、料金を見直している。水道事業は、税金ではなく使用する人からの料金によって賄うのが原則である。</p> <p>山村地域の水道も市で管理していくとなると、さらに水道料金の値上げが必須となる。</p> <p>非常に難しいが、課題として受け止めておく。</p>

参加者の発言要旨	市の発言要旨（及び対応）
<p><経緯の整理と今後の方針について> 過去、洪水で簡易水道設備(※)が使えない等問題が発生したことがあり、管理者である地元の対応が困難だったため、完全な修繕ではないものの、行政が対処してくれた。 しかし、故障の都度これを繰り返すために設備能力は徐々に低下してきた。人口や労力が一層減っているにも関わらず、補助なしで地元で管理を、と言うのか。</p> <p>全体の構図としては、水道施設は西条市が所有しているものではないか。それを、市が仲介して、地元と業者が委託契約を結ぶのはおかしいと思う。現状、不備があれば市で対応するべきではないか。 仮に業者委託したとして、災害時など業者がすぐ対応できるのか不安である。地域の実情を把握した上で、管理してくれるのか。</p>	<p>山村振興事業等の主旨として、設備の設置は市で行うが、その後の維持管理は地元となっている。 設備14箇所の所有権がどうなっているかは、改めて調べさせていただく。 今回の課題は、大雨の後に取水口まで行って掃除をするのが難しいという相談であったため、解決方法として、水道業者組合等への管理委託、またその仕組みづくりを提案させていただいた。 料金についても、あくまで参考として、今後協議をしていきたい。 施設の修繕に対しては、清掃や簡易な修繕を除き補助金制度（上限60万円）がある。 これから水道の管理をどうするかという局面であり、それぞれの所有者や経緯を整理しておき、皆さんと共有しながら引き続き議論したい。</p>
<p>自分が住む地区では部落が土地を購入し、設置場所を確保したと思う。また、個人的に土地を無償提供している地区もある。 用地を調べたらわかると思うが、宮坂地区の水道については、市の土地になっているはずである。 いずれも、管理は自分達で行うような形である。</p>	
<p><道路管理について> 市道臼坂線において、地域住民が市道の草刈り等をしているが、樹木が生茂っており、高所の除去作業に苦慮している。救急車が通れないこともあるので市で対応してほしい。 もし、高所作業車の借用が可能であるなら、なんとか自分達で伐採できると思う。</p>	<p>皆さんには日頃から通行に支障がないよう管理していただいております、感謝しています。 高所での作業等にあたり、地元での対応が困難な場合は、市に相談していただきたい。地域の皆さんと連携して作業できれば、より効果的だと考える。</p>
<p><鳥獣による道路への落石対策について> 楠窪地区では、道路整備はされているものの落ち葉が多量にあり、イノシシがそれを掘るため、路上に石を落とすことが度々ある。 普段から、気づいた人が石を除ける習慣になっているが、落ち葉の堆積が甚だしいので、資機材を提供していただきたい。楠窪でも道路愛護団体の登録をすれば良いのか。 また、網を張るなど、石の落下が通行の支障にならないよう対策をお願いしたい。</p>	<p>道路愛護団体は、除草や側溝の清掃など比較的軽微な作業をお願いしている。 通行に支障がある樹木の伐採については、地権者をお願いしている。対応が困難な場合は市に相談してほしい。 その他、側溝の蓋などの現物を支給できる場合もあるので市に相談してほしい。 鳥獣による道路への落石対策についても具体的な対応を考えるので、場所を教えてください。</p>
<p><公共交通について> バスの利用者が少ないので、今後、減便や廃線の可能性があるのではないかと。そうすると、運転免許がない人や身内に頼れない人は、生活に支障が出る不安がある。 現在のよりそいタクシー制度（予約制乗合タクシー）は利用者が少ない。 今後の公共交通の方向性をお聞きしたい。</p>	<p>持続可能な公共交通体系の構築のため、令和2年度に「西条市地域公共交通網形成計画」を策定し、バス路線を見直した。 そこでは、保井野線（保井野～壬生川駅：1便あたり1.6人の利用状況）は路線廃止を検討する路線と判定されている。 路線廃止（令和5～6年を予定）に合わせ、今後はよりそいタクシーへの移行に向けて協議していきたい。 移動手段として使っていただくには、地域の皆さんが利用しやすくなるように、エリア設定などを一緒に検討していただきたい。</p>
<p>廃止を検討するのは、保井野線のみか。</p>	<p>市内で完結する路線の中で、収支率（収益/費用）や利用者数などを踏まえ検討したところ、廃止の対象となるのは禎瑞線、三芳線、保井野線である。 関屋線と湯谷口線については、現時点では通学利用があるため廃止の対象ではない。 壬生川線（壬生川駅～湯谷口）は幹線の位置づけで、残る路線となっている。</p>

参加者の発言要旨	市の発言要旨（及び対応）
<p><よりそいタクシーについて> 徳島県つるぎ町では、予約不要でよりそいタクシーを運行しているようだ。 地域の人は予約を煩わしく思うので、このような事例を参考にさせていただきたい。</p> <p>バス路線があるおかげで、走りやすい道路が保たれている側面もあると思う。 交通網が縮小して、地域が廃れることのないよう配慮していただきたい。</p>	<p>よりそいタクシーを定路線のような運行体系にすると、現行のバスより経費を要するかもしれない。 他地域の事例を参考にしながらも、この地域にとってベストな公共交通を考えていく。意見を取り入れながら改善を続けるので、今後も情報を寄せていただきたい。</p> <p>地域でお困りの方がいたら、よりそいタクシーをご利用いただくよう、皆さんからも声かけをお願いします。</p>
<p><防災情報アプリについて> アプリ上で「桜樹公民館」が避難所として掲載されているが、ここは危ないので削除してほしい。</p>	<p>「指定避難所」と「指定緊急避難場所」の2種類があり、桜樹公民館は「指定避難所」としてアプリに掲載している。</p> <p>◆指定避難所 災害発生後、被災者等が一時的に滞在するための施設</p> <p>◆指定緊急避難場所 災害発生時、危険から命を守るために緊急的に避難する場所 (※事前避難を呼びかける際は、「中川公民館」を避難場所として案内している)</p>
<p>まとめ</p>	<p><市長> 人口減少は市全体の問題であるが、とりわけ中山間地域では深刻である。人口減少に伴って様々な課題が生じてくるが、一つずつ丁寧に対応してまいりたい。 「できること・できないこと」があらうかと思うが、皆さんの声をお聞かせいただき、より良い方向を目指したい。</p> <p><連合自治会長> 少人数ではあったが、一人ひとりの思いを聴くことができ、話し合えたことは有意義だった。本日の会議を今後の生活の安心に繋げていきたい。 桜樹の未来を良くするためには、普段から皆で考え、話し合い、動き出すことが必要である。高齢者が多い地区だが、皆で無理なく活動が続けるようにしたい。</p>

<当日の様子>

